

野村世界業種別投資シリーズ (世界ヘルスケア株投資)

運用報告書(全体版)

第13期(決算日2022年6月28日)

作成対象期間(2021年6月29日～2022年6月28日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年8月27日から2024年6月28日までです。
運用方針	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。株式への投資にあたっては、定量分析により銘柄群の絞込みを行なった後、各国の医療制度・技術の進展動向等を考慮しつつ、成長性、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。また、個別銘柄評価とポートフォリオ全体のリスク特性などを総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		ベンチマーク		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分	み 期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
9 期 (2018 年 6 月 28 日)	22,582	670	△ 1.6	1.8	99.3	—	—	1,641
10 期 (2019 年 6 月 28 日)	23,924	730	9.2	7.4	99.0	—	—	1,300
11 期 (2020 年 6 月 29 日)	25,132	800	8.4	13.0	95.0	—	—	832
12 期 (2021 年 6 月 28 日)	30,561	1,100	26.0	29.1	95.1	—	—	776
13 期 (2022 年 6 月 28 日)	36,848	1,400	25.2	18.5	93.9	—	—	1,671

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* ベンチマーク（＝MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
* MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（出所）MSCI、ブルームバーグ

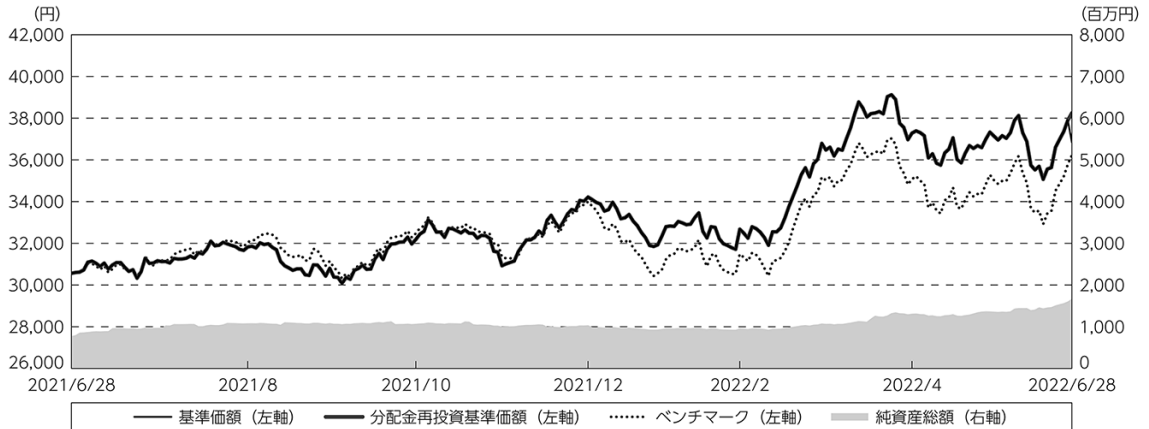
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		ベンチマーク		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%	%	%	%
2021 年 6 月 28 日	30,561	—	—	95.1	—	—	—
6 月末	30,620	0.2	0.2	91.9	—	—	—
7 月末	31,122	1.8	2.0	97.7	—	—	—
8 月末	31,824	4.1	4.9	94.2	—	—	—
9 月末	30,800	0.8	1.9	99.4	—	—	—
10 月末	32,186	5.3	6.3	99.3	—	—	—
11 月末	31,578	3.3	4.6	99.5	—	—	—
12 月末	34,215	12.0	11.2	94.8	—	—	—
2022 年 1 月末	32,796	7.3	2.2	98.0	—	—	—
2 月末	32,675	6.9	3.0	97.6	—	—	—
3 月末	36,605	19.8	15.1	97.6	—	—	—
4 月末	37,283	22.0	14.8	96.5	—	—	—
5 月末	37,328	22.1	15.5	97.1	—	—	—
(期 末)							
2022 年 6 月 28 日	38,248	25.2	18.5	93.9	—	—	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：30,561円

期 末：36,848円（既払分配金（税込み）：1,400円）

騰落率： 25.2%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2021年6月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2021年6月28日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- （上昇）FDA（米国食品医薬品局）が一部の新型コロナウイルスワクチンを正式承認したこと、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送りで合意したこと、米大手医療保険が相次いで市場予想を上回る2021年7－9月期決算を発表したこと、FDAが新型コロナウイルスの飲み薬の緊急使用を承認することで収益貢献が期待された米大手製薬株の上昇に支えられたこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと
- （下落）米金融政策の正常化が早期に進むとの見方が強まり、米長期金利が上昇したこと、ロシアがウクライナへ軍事侵攻したことにより地政学的リスクが高まったこと
- （上昇）FOMC（米連邦公開市場委員会）が市場予想通り政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したこと、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと、地政学的リスクが強く意識される中、医薬品株などを中心に業績の安定性が市場に評価されたこと、為替市場で米ドル高・円安が進行したこと

（下落）米金融政策の早期引き締めによる景気減速懸念が高まったこと

（上昇）インフレ懸念が依然続く中、相対的にヘルスケア企業の企業業績の安定性が評価されたこと

○投資環境

当期の世界のヘルスケア株は、当期初から2021年8月下旬にかけて、米国の量的金融緩和の早期縮小観測が後退したことや、FDAが一部の新型コロナウイルスワクチンを正式承認したことで、ワクチン接種の進展により米経済活動の再開が進むとの見方が台頭したことなどから、上昇基調を維持しました。9月に入ると、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米経済指標を受けて、景気の先行き不透明感が意識されたことや、中国の大手不動産会社の債務問題を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、下落に転じました。10月は、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送りで合意したことや、米大手医療保険の市場予想を上回る7－9月期決算などを背景に、再び上昇しました。その後も、FRB（米連邦準備制度理事会）が利上げには慎重な姿勢を維持したことなどから上昇しましたが、11月下旬以降、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念や、米国の早期の利上げ観測の台頭などから、相対的にバリュエーション（投資価値評価）の高いヘルスケア機器サービス株の株価などが下落しました。12月には、FDAが新型コロナウイルスの飲み薬の緊急使用を承認したことなどから、経口治療薬の収益貢献が期待された米大手製薬株の上昇に支えられる形で反発しました。

2022年1月上旬、米金融政策の正常化が早期に進むとの見方が強まり、米長期金利が上昇する中、バリュエーションが相対的に割高なヘルスケア機器・用品株などの株価が下げ幅を拡大し、3月上旬にかけて、ロシアがウクライナへ軍事侵攻したことによる地政学的リスクの高まりなどから下落基調で推移しました。その後、FOMCが市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、地政学的リスクが強く意識される中、医薬品株などを中心に業績の安定性が市場に評価されたことや、FDAが新型コロナウイルスのワクチンについて、50歳以上を対象に4回目の接種を許可すると発表したことなどから関連企業の株価が上昇し、反発しました。4月中旬以降は、米金融政策の早期引き締めによる景気減速懸念が高まったことなどから、再び下落しました。当期末にかけては、インフレ懸念が依然続く中、相対的に企業業績の安定性が評価され上昇しましたが、当期において世界のヘルスケア株は下落しました。

一方、為替市場では、2021年9月下旬以降、米債務上限問題が先送りされたことや、米金融政策の正常化が意識され長期金利が上昇基調を強めたことなどから、米ドル高が進行しました。その後、2022年3月以降は、エネルギー価格の高騰やサプライチェーン（供給網）の混乱などによる物価上昇に対応するべくFRBが金融引き締め姿勢を強める一方、日銀が緩和的な金融政策を維持したことなどを背景に日米の金利差が拡大し、米ドル高が急速に進行し、当期においては米ドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 地域・国別配分では、米国、英国などをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、日本などをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）、中国などを非保有としました。
- (2) 業種別配分では、医薬品、ヘルスケア機器・用品をオーバーウェイトとし、ライフサイエンス・ツール／サービス、バイオテクノロジーなどをアンダーウェイト、ヘルスケア・テクノロジーなどを非保有としました。
- (3) 個別銘柄では、ユナイテッドヘルス・グループ（米国）、ジョンソン・エンド・ジョンソン（米国）、アボットラボラトリーズ（米国）などを上位に組み入れました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

ベンチマーク（MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））が18.5%の上昇となったのに対して、基準価額は25.2%の上昇となりました。

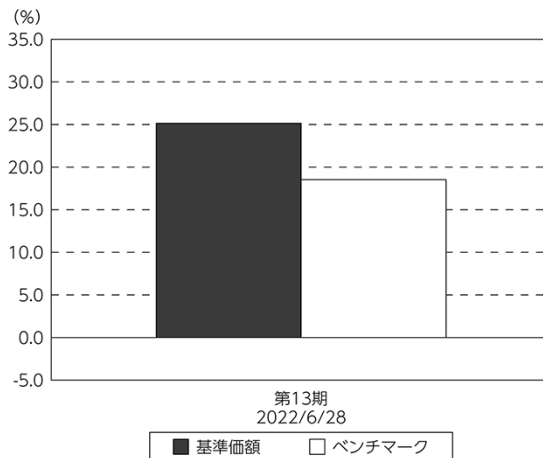
（主なプラス要因）

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回った米国などをオーバーウェイトとしたこと、株価騰落率がベンチマークを下回った中国などを非保有としたこと
- ②業種別配分で、医薬品の銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを上回ったブリストル・マイヤーズ・スクイブ（米国）、ユナイテッドヘルス・グループ（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ①地域・国別配分で、ドイツの銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回ったヘルスケア機器・用品をオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。

③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを下回ったフレゼニウス（ドイツ）、イルミナ（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

◎分配金

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり1,400円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第13期
	2021年6月29日～ 2022年6月28日
当期分配金	1,400
（対基準価額比率）	3.660%
当期の収益	1,400
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	26,848

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

・投資環境

- （１）米国経済は、労働市場や個人消費が堅調に推移する一方、企業は今後の展望に対して慎重な姿勢を強めています。また、急速な物価上昇を受けて金融政策の正常化を急ぐFRBは6月のFOMCで0.75%の大幅利上げを決定しました。さらに、パウエルFRB議長は7月のFOMCでも大幅利上げとなる可能性を示唆しています。今後もFRBは、継続的な利上げによる米国景気への影響など、経済データを注視しつつ金融政策運営を行なうと見られます。
- （２）欧州経済は、6月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が5月と比較して大幅に低下しましたが、今後も、エネルギーなどの価格高騰が企業の景況感や消費者心理に与える影響を注視しています。また、足元の物価上昇に対応するためECBは、7月に0.25%の利上げを行ない、さらに9月には0.5%の追加利上げを行なう可能性を示唆しており、こうした金融引き締めが企業業績や景気に与える影響も注目されます。

・運用方針

- （１）当ファンドはボトムアップアプローチを重視し、成長性・利益構造・財務内容などの観点から、グローバルにヘルスケア市場をリードしていくことができる企業群に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、地域・国別配分、業種別配分ともに市場の時価総額構成比を意識した配分を行ない、世界のヘルスケア株市場全体の動きを反映したりターンの獲得を目指します。
- （２）業種別配分としては、コロナ禍の収束により手術件数回復の恩恵が期待されるなか、株価下落により割安感がでてきたヘルスケア機器・用品のオーバーウェイトを維持する方針です。一方、病院の人件費や医療費の増加などがリスク要因になると考えられるヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスのアンダーウェイトを維持する考えです。
- （３）銘柄選択において、今後の新薬開発の動向や薬価の見通し、業界内でのM&A（企業の合併・買収）、ヘルスケア政策の方向性などに注意したうえで、株価バリュエーションが割安な銘柄への投資を重視していく方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年 6 月29日～2022年 6 月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 549	% 1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(262)	(0.787)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(262)	(0.787)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(26)	(0.077)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.051	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0.051)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	8	0.025	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(8)	(0.025)	
(d) そ の 他 費 用	15	0.045	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	589	1.771	
期中の平均基準価額は、33,252円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

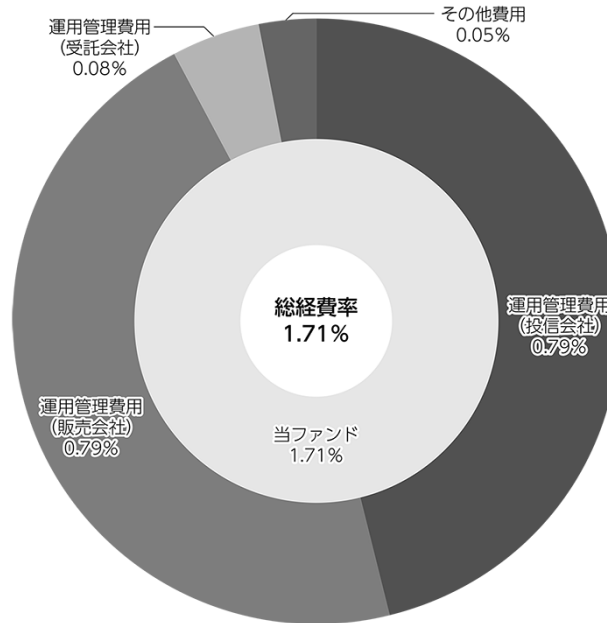
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年6月29日～2022年6月28日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 5	千円 13,506	千株 5	千円 5,565
外 国	アメリカ	百株 390 (4)	千米ドル 5,780 (ー)	百株 129	千米ドル 1,740
	イギリス	76	千英ポンド 281	95	千英ポンド 178
	スイス	24	千スイスフラン 383	5	千スイスフラン 93
	デンマーク	15	千デンマーククローネ 1,063	6	千デンマーククローネ 459
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	13	59	5	26
	フランス	11 (0.66)	111 (ー)	3	22

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年6月29日～2022年6月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,112,641千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,034,401千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.07

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月29日～2022年6月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年6月28日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	
医薬品 (100.0%)	千株	千株	千円	
武田薬品工業	1.5	2.9	11,025	
中外製薬	0.7	1.6	5,742	
参天製薬	2.6	—	—	
合 計	株 数 ・ 金 額	4	4	16,768
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	< 1.0% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	28	39	435	59,009	ヘルスケア機器・用品	
ABBVIE INC	18	31	488	66,246	バイオテク ノロジー	
AMGEN INC	8	9	243	33,006	バイオテク ノロジー	
BECTON, DICKINSON	9	12	300	40,660	ヘルスケア機器・用品	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	5	18	153	20,750	バイオテク ノロジー	
BIOGEN INC	2	4	96	13,020	バイオテク ノロジー	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	37	73	583	79,111	医薬品	
CIGNA CORP	8	12	333	45,220	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
CVS HEALTH CORP	27	26	245	33,301	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
DANAHER CORP	10	20	512	69,476	ライフサイエンス・ツール/サービス	
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	7	24	232	31,477	ヘルスケア機器・用品	
GILEAD SCIENCES INC	29	48	301	40,858	バイオテク ノロジー	
ILLUMINA INC	3	7	135	18,336	ライフサイエンス・ツール/サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	1	11	228	30,988	ヘルスケア機器・用品	
JOHNSON & JOHNSON	27	51	930	126,106	医薬品	
ELI LILLY & CO.	8	18	589	79,809	医薬品	
MERCK & CO INC	35	60	569	77,166	医薬品	
ORGANON & CO	3	—	—	—	医薬品	
PFIZER INC	45	79	413	56,039	医薬品	
STRYKER CORP	8	14	284	38,528	ヘルスケア機器・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	5	12	652	88,382	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	11	19	1,002	135,849	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VERTEX PHARMACEUTICALS	4	5	143	19,463	バイオテク ノロジー	
VIATRIS INC	10	—	—	—	医薬品	

野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	比率	
(アメリカ)	百株	百株	千円	千円	
WATERS CORP	2	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	7	14	151	20,581	ヘルスケア機器・用品
MEDTRONIC PLC	23	40	361	49,027	ヘルスケア機器・用品
小計	株数・金額	株数・金額	9,391	1,272,419	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<76.1%>	
(イギリス)			千英ポンド		
GSK PLC	118	82	145	24,220	医薬品
ASTRAZENECA PLC	21	37	407	67,765	医薬品
小計	株数・金額	株数・金額	553	91,986	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<5.5%>	
(スイス)			千スイスフラン		
NOVARTIS AG-REG	16	29	244	34,700	医薬品
ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	7	13	419	59,508	医薬品
小計	株数・金額	株数・金額	664	94,209	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<5.6%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
NOVO NORDISK A/S-B	21	31	2,502	48,176	医薬品
小計	株数・金額	株数・金額	2,502	48,176	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<2.9%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
FRESENIUS SE & CO KGAA	36	44	126	18,112	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
小計	株数・金額	株数・金額	126	18,112	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<1.1%>	
(ユーロ…フランス)					
SANOFI	10	19	196	28,169	医薬品
小計	株数・金額	株数・金額	196	28,169	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<1.7%>	
ユーロ計	株数・金額	株数・金額	323	46,282	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<2.8%>	
合計	株数・金額	株数・金額	—	1,553,073	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<92.9%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
 * 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
 * 株数・評価額の単位未満は切り捨て。
 * 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2022年6月28日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,569,841	% 86.3
コール・ローン等、その他	249,206	13.7
投資信託財産総額	1,819,047	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。
 * 当期末における外貨建純資産（1,486,786千円）の投資信託財産総額（1,819,047千円）に対する比率は81.7%です。
 * 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.48円、1英ポンド=166.21円、1スイスフラン=141.70円、1デンマーククローネ=19.25円、1ユーロ=143.22円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年6月28日現在）

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	1,887,474,971
コール・ローン等	246,862,615
株式(評価額)	1,569,841,882
未収入金	68,552,805
未収配当金	2,217,669
(B) 負債	216,040,034
未払金	143,106,104
未払収益分配金	63,503,631
未払解約金	39,186
未払信託報酬	9,372,223
未払利息	203
その他未払費用	18,687
(C) 純資産総額(A－B)	1,671,434,937
元本	453,597,365
次期繰越損益金	1,217,837,572
(D) 受益権総口数	453,597,365口
1万円当たり基準価額(C/D)	36,848円

(注) 期首元本額は254,057,448円、期中追加設定元本額は355,081,203円、期中一部解約元本額は155,541,286円、1口当たり純資産額は3,6848円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額4,306,687円。

○損益の状況（2021年6月29日～2022年6月28日）

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	18,596,833
受取配当金	18,594,084
受取利息	5,202
支払利息	△ 2,453
(B) 有価証券売買損益	205,262,430
売買益	328,719,657
売買損	△ 123,457,227
(C) 信託報酬等	△ 18,432,464
(D) 当期損益金(A+B+C)	205,426,799
(E) 前期繰越損益金	83,855,144
(F) 追加信託差損益金	992,059,260
(配当等相当額)	(389,134,132)
(売買損益相当額)	(602,925,128)
(G) 計(D+E+F)	1,281,341,203
(H) 収益分配金	△ 63,503,631
次期繰越損益金(G+H)	1,217,837,572
追加信託差損益金	992,059,260
(配当等相当額)	(389,134,132)
(売買損益相当額)	(602,925,128)
分標準備積立金	225,778,312

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2021年6月29日～2022年6月28日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年6月29日～ 2022年6月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	17,065,095円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	188,361,704円
c. 信託約款に定める収益調整金	992,059,260円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	83,855,144円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,281,341,203円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	28,248円
g. 分配金	63,503,631円
h. 分配金(1万円当たり)	1,400円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	1,400円
-----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。